

は既に御承知の事である、其進歩の點から見たならば三宅先生が當時土藏の中に色々蓄はへられ、此顕微鏡學に付いて非常に盡された時代から見ると容易である、電話をかけて本町に云へば一日の内に總ての物が整ふのでありますから、其場合と程度に於ては同日に論ずる事は出来ませぬけれども、亦容易に進歩はしますが、或は周圍から壓迫する事もある、故に個人として斯の如き物を設立しやうとしたならば、諸友人の助けは勿論、又同僚學者の助けは勿論容易ならぬ事でありませぬけれども、諸般の便利も亦今日は多大になつて居る事は疑ひを容れぬのであります、而して今日は斯の如く「インスチテュート」が時勢に必要であつて又時勢の助けに依つては生れ來たに違ひないのでありますけれども、眞に學術に身を委ぬて忠良たる人が利害關係を棄て従事しなければ斯様な事は出来ぬので、此事に付いては多大の尊敬と感謝の意を遠山君並に其他是に盡力せられる勢に向つ

國家的發達の上に於て幾多の變遷をなし、而して吾々は「マクロスコープ」を以て總ての事を處理して行く中に「ミクロスコープ」の生活がなる事を意味して居ります、又「ミクロスコープ」の生活は「マクロスコープ」の生活で助けると云ふ事の意味にもなるのであります、小にしては一般に種々なる變化を加へ、而して此を益する所の問題も起るのであります、大にしては宇宙の觀察あり無形の變化を綜合したる所の諸機關上にも及ぶのであります、是等の物を綜合して人世生活の上に利用してさうして世界的生存競争の爲に生物學の原則を基礎として發達する所の諸般の研究を助ける所のものは、此顕微鏡學の努力と云ふものに俟たなければならぬと云ふ事は論を俟たぬべきであります、而して今日此新築が成立つ以上は不肖なる私の不辯を以て申述べる事の出来ない程の偉大なる結果を持來たものであつて、我が醫學は昔日の醫學にあらざりて、今日の醫學は實に偉大なる面目を

て私は申述べて見たいと云ふ考への外他に何等材料を有つて居らぬのであります、以上申述べました事の其感じが私の言葉を以つて十分に盡す事は出来ぬから、聊か既往に向ひ、現在に於ける所の所感の厚薄深淺を御推察を請ひたいと思ふ點から圖らず時間を費した譯であります、諸君の聰明なる博識なる御推察に依つて、私の言葉の足らざる所を補ひ、其喜こびのある所を察せられまして、諸君が間接に我が人生に多大の幸福を與へたと云ふ事に至つては論を俟たずして御了承になる事と考へますから、其上分析して申述べる事は差控へやうと思ふ。

而してモウ一言終りに添へなければならぬものは今日の國家學は「マクロスコープ」の中の「ミクロスコープ」で生活する事になつて來たのであります、此事は多數聯合帝國が成立つて、共和國が成立つて、又民族發展の狀態も變つて居る、生存競争の

保ち、面目を新たにす所のものであつて、其大部分の變化を起す所のもは此顕微鏡院の設立と共に又明らかなるものある事を思はざるを得ない次第であります、  
多言は致しませぬ、是を以て私の祝辭、希望、人生の幸福、國家の幸福としてお祝ひ申し上げます。

(文責在記者)

次に安達墨國特命全權公使の祝詞演説は次の如くなりき。

諸君、私は學問と云ひ又職業から申しましたも何等顕微鏡學に關係を持たないにも拘らず、憎越ながら此壇に登りました今日一言の已むない事になりました事に付いては三個の理由があります、極く簡単にそれを述べまして満腔の祝意を表したいと思ひます。

諸君、第一は我が敬愛する遠山博士は、我と同郷の方でございまして、其先達の最も偉大なるもの一人でございまして、故郷にも色々ございましてが

廣く云へば日本も故郷、東北も故郷である、山形縣も故郷であります、其意味の故郷は全然私の申す故郷とは違ふので、其大故郷に於ける一小點を劃したる其故郷でございます、彼の即ち村山の谷西の山の麓に於ける山の邊町と云ふ小さい町に於て昔より遠山家は住はれ、私共の祖先も其所に生活して居りました、祖先以來同じ山川の景を眺めて同じ木、同じ石、同じ田畑を見て、さうして發展し來つた所の吾々地方人でございます、まして遠山君のお家は、私が小學校時代に、毎日學校に通ふ所の途中にございまして、而も御令弟彌十君は私と同級竹馬の友でありまして、毎日のやうにお家へお寄り申し、又立寄りぬ時でも先輩として尊敬すべき方は遠山博士と子供心に敬慕して居つたのであります、其後種々境遇の變化に依りお遇ひ申さない事時としては十年、時としては二十年でありますけれども、遠山博士の消息は私は常に甚深なる興味を以て是を考へて居つたのであります

す、それでありましたから、去る明治二十三年頃本院を建てられたと云ふ消息を仄かに聴きました時は心密かに、又最も熱心にして眞率なる心を以て其發展を神に祈つて居つたのであります、然るに今日二十五年の長い星霜を経て、艱難困苦と闘はれたに違ひないと思ひますが、是に打勝つて今日まで發展をし、又今日新築をせられて此後長く此事業に益々盛んに従事せられる事の根本を立てられた事を聞いて、私は何共言語を以て言ひ現はす事の出来ない愉快で、又我が實際故郷に取つて誇りを感じず次第でございます、諸君、二十五年の星霜は決して短かいものではございません、此二十五年の星霜の間に同じ事業に従事して居ると云ふ事は、既に尊敬を受ける所の頗る權利のあるものでございます、其間別段政府若くは其他公然の援助もなく、友人の方々の協心努力以て斯の如く發展いたして、今日吾々の最も尊敬いたす所の先輩諸君がお集りになり、本院の二十五年の紀念の

祝賀を聞かれる事になつたのは、一つは遠山博士に對し同情の無限なる事を表し、又一方には其間に於て艱難辛苦と闘はれた其苦衷を諒として、多大なる尊敬の意を表する次第でございます、是が第一の理由でございます。

第二の理由は私は度々歐羅巴へ參り、殊に佛國在勳中に其専門の人々の顯微鏡術を益々改良發達せしめて、其結果を最も實際に適用する事が必要であると云ふ説を聽いて是を信じ、願くは日本に於ても單り政府の設備を待つばかりでなく、尙ほ民間に於て斯の如き事業が大に發展したならば獨り實際上の利益があるのみならず、又日本の國家として名譽であらうと思ひまして、本院の如き設備が日本國に發達する事は大に希望して居つたので然るに遠山博士の拮据經營に依つて今日「インスチット」が東京の中心に於て發達したと云ふ事は是又第二の喜びでございます。

第三の喜びは利己主義のやうであります、そ

れは御承知でも居らうしやいませうが、私の前任地墨西哥と云ふ所は數年來内亂に内亂を重ねて深くなり、群雄割據、交通は途絶いたして、私は餘儀なく軍艦出雲を訪問等いたし、或る村落に押込められ、種々難多の毒を含んだ食物も已むを得ず食べなければならぬと云ふやうな譯で、首府へ歸りまして十日ばかり經つと病氣に罹り、種々醫療を盡しても病氣を發見する事が出来なかつたので、殆ど絶望の域に陥つたのであります、さて其病氣を發見するに付いては顯微鏡の精密なる、又最も進歩したるものが要ると云ふ譯で、完全なる機械のある「インスチット」と稱する者もないから諸方の醫者を頼んで出来るだけ機械を集めて、さうして二月三月と掛かつて何處に病氣があるかと云ふ事の發見に努めた、其結果に依つて一つの療法、即ち「メトード」を立てたので、私の病氣は肝臟にあると云ふのを排泄物に依つて發見を致し、それから後始めて極く遅延ながらも全快に向ひつ、

あると云ふ事になつたのでございませうが、其以前顯微鏡の力を藉らずして従來の療法を講じた時に當つては何等療法を發見する事が出来ないのではありませんから、我が同僚の外國公使に於ては、其時は私には言はなかつたのでありますが、一週間に一通位の應急手段を講ずるのでありますが、皆話して居つた、彼は必ず死ぬに違ひない、一週間毎に衰へて行くと云はれて居つた位であります、私の體量十三貫目のものが五貫目も減つて仕舞つた此生活を續ける事が出来なくなつた時に不思議にも顯微鏡研究のお蔭として遂に療法を發見いたして快方に向ふやうになり、それから米國に歸りまして紐育に着いて亞米利加の醫者で餘程の大家ださうであります、其人に診て貰つた故か、墨哥西に於て顯微鏡の力を以て排泄物を検査しそれに依つて決定したる所の療法が宜しいので、それを續けて行けば宜しい、續けて行かなくつても宜しいと云ふ程度に達したから安心するやうにと云ふ

に罷り出で一言祝意を表したいと思ふ次第でありまして、此點は偏に諸君の御容赦を請ひます。終りに臨んで二十五年は長い星霜であります、人一度び大病に罹つて是を治療するに良い「メトローデ」を發見し、其「メトローデ」に依つて治療をし再び其人が生活するに至れば、其人の生活は新らしき生活であります、私の生活は新らしき第二の生活の今日でありますけれども、五六年以前は朝から晩まで勉強すれば晩方には疲勞を感じたのであります、然るに一つの「メトローデ」を以て生活すると、夜十二時まで働いても、又徹夜に近い作業をしても少しも草臥れるやうな事はないやうになりました、遠山博士は先頃大病に罹られたさうであります、新聞紙でショット見た時には、是は今度は御遠遊遊ばしたかと思ふ位の、然るに幸ひ御全快になり、それから又生活の方法をお決りになつて、さうして此顯微鏡學並に是が實行の爲に身を捧げる決心を取られた以上は、必ずや遠山博

事でありました、一面私に取つて天來の福音でございませう、其時にも熱々感じて遠山博士に手紙を差上げてと思ふて、我が郷里の先輩遠山博士に、私は斯々の病氣に罹つて、どうしたら宜からうかと云ふ事を向ふから手紙を出しました所が、中々手紙も届かない彼の國でありませうけれども、幸ひに届いて博士より御返事を頂戴した次第であります、其時に考へて東京の顯微鏡院は今日には餘程良くなつて居るであらう、東京の顯微鏡院の如き完全なる所の設備が此墨國にあつたならば私の治療も少しも懸念なく出来たであらうと思ふと、一つは郷里の先輩を思ひ、二つには東京の顯微鏡院を思ふて、さうして日を暮して居つた事もあつた次第でありますから、此顯微鏡院が今日斯の如く發達を來たして目出度いと云ふ今日の日を迎へまする事は、斯の如く苦しい經驗を経て居る私に取つての喜びは諸君の想像の外にふる次第でございませう、此三開の理由ある爲に今日書信ながら此所

士の生活は第二番の生活の一頁を爲すに違ひないと思ひます、然らば本院の將來に對しては此後二十五年を経て此所に發展した建物に於て祝賀會を行はれる時の院長は、亦遠山博士たるに違ひないと私は信じて疑はない所でございませう、其節は又今日に彌勝る熱誠を以て此所に参上いたして、遠山博士の前に於て祝辭を述べたいと云ふのが私の本院に於ける希望でございませう、又先輩遠山君に對する衷情でございませう、諸君、清聴を讀しまし

て恐縮でございませう。(文責在記者)  
それより緒方博士、北里博士、江原白十字會長の左の祝辭あり。

#### ○緒方醫學博士

遠山醫學博士の經營にかゝる顯微鏡院は創立既に二十五週年を経て事業益盛大に赴き最近新築擴張の工竣りて今日茲に落成式を兼ね創立滿二十五年紀念祝賀式を舉行せらるゝに至りしは余の衷心欣慶措く能はざる所なり。